

支援プログラム

作成日 2025 年 2 月 19 日

法人（事業所）理念	聞ける言葉に耳を傾け、見える行動に目を配り、見えない心は一番大切に寄り添います		
支援方針	誰もが楽しいと感じられる場所であり、その中から将来必要な力を個別・集団を通して身につけることができるよう支援します		
営業時間	月曜日から金曜日 午前10時から午後6時 土曜日、国民の祝日 午前9時から午後5時	送迎実施の有無	あり
支援内容			
本人支援	健康・生活	体温チェック、食育、衣服の着脱、食具の使い方・食べ方、姿勢のチェック、公園での粗大運動、室内での微細運動	
	運動・感覚	ボディイメージ、作業療法士が実施する感覚統合、目と手の協応運動（製作・遊具など）	
	認知・行動	SST、コグニティブトレーニング、感情のコントロール、トークンエコノミー、応用行動分析（ABA）	
	言語・コミュニケーション	SST、外出活動	
	人間関係・社会性	SST、公共の場所の利用、電車やバスなどの公共交通機関の利用	
家族支援	保護者の方の頑張りや努力を言葉にして認め、尊重しその中で子どもたちが育っていることをお互いに共通理解をする。そのことで信頼関係が生まれ保護者の方にとっても嫌なことでもお互いに子どものために言い合える信頼関係の構築を図るような支援をします		
移行支援	相談支援専門員の方と協力・情報共有し、個人に合った行き先を早期から相談をします。情報の提供や意見交換はその都度していきたいと思えます		
地域支援・地域連携	現在も実施・参加している会議にも今後も引き続き参加します。また、子どもたちが通院している医療機関で実施した検査結果をもとに療育にも反映し、学校関係、行政機関との連携も引き続き行います		
職員の質の向上	毎日朝礼をして前日の反省、当日の子どもたちの留意事項、本日の活動の内容や進め方を話し合います。また、定期的に研修会を実施し質の向上に務めます		
主な行事等	季節を感じることができるような行事、お誕生日会、食育、外出学習、外食学習、製作、運動など		